

# 生徒1人1台端末を活用した



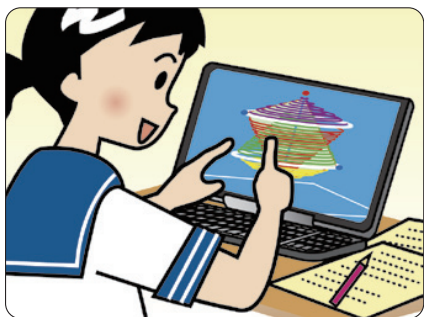
# 新たな学びを推進します

今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、これからの時代を生きる子どもたちにとって、パソコンやタブレット端末は、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムであり、社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げるために必要不可欠なものとなっています。

文部科学省は、児童・生徒1人1台端末（パソコン、タブレット端末）と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想を推進しており、小・中学校では、令和2年度中に児童・生徒1人1台端末が整備される予定です。

岡山県教育委員会では、県立高校に生徒1人1台端末を活用した最先端のICT教育を取り入れるため、教育用クラウド環境や高速大容量の通信環境等のICT環境整備を進めています（令和2年度完了予定）。今後、県立高校及び中等教育学校後期課程の**令和3年度又は令和4年度の入学生等から、学校が指定する端末を購入**していただき、生徒1人1台端末の環境を実現していくこととしていますので、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

「1人1台端末」の活用により、このような学びが実現できます。



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録



複数の意見・考えを議論して整理



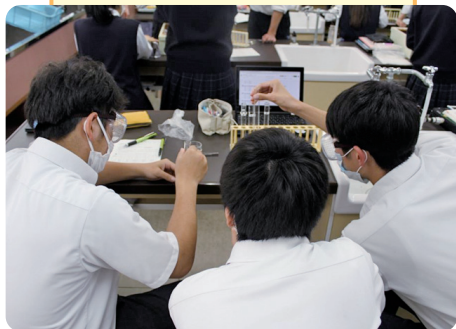
1人1台端末を活用した家庭学習、オンライン授業



グループでの分担、協働による作品の制作

すでに個人購入により「1人1台端末」の環境を実現している  
県立高校3校では、このような活用が進んでいます。

### 県立林野高校



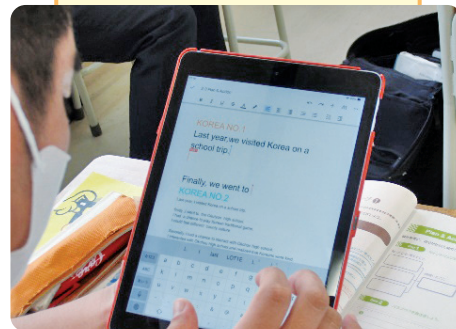
理科の実験結果をグループごとに端末に入力し、リアルタイムにクラス全体で情報共有して理解を深めています。

### 県立岡山操山高校



評論文を読んで、考えを入力し、リアルタイムにクラス全員で情報共有して、自分と他者との考えを比べて思考を深めています。

### 県立和気閑谷高校



課題の提示と回収をオンラインで行うことで、教員がリアルタイムに生徒の回答を確認でき、間違いの多い問題を重点的に説明するなど、より効果的な指導につなげています。

## 1人1台端末導入についてのQ&A

**Q** 全ての県立高校で同じ端末を個人購入するのですか。

**A** 個人購入（リースやレンタルの場合を含む。）により導入する端末は県立高校ごとに異なるため、金額も異なります。購入金額については、端末本体やバッグ等の付属品に物損保険料やフィルタリングソフトなどの代金を加えた金額を見込んでいます。

**Q** 端末は家庭で自由に使用することができますか。

**A** 端末は、家庭での学習にも活用することを想定していますが、各端末に導入した専用の管理ツールにより、不適切なサイトへの接続や、有害なファイル等のダウンロードには制限がかかることとなります。なお、端末は持ち帰り、充電は各家庭で行っていただきます。

**Q** すでに個人で所有している端末を学校に持ち込むことはできませんか。

**A** 端末は、学校の教育活動で日常的に使用するため、各端末に専用の管理ツールを導入し、適切に管理したいと考えています。端末が異なることで、ネットワークにつながらないなどのトラブル発生時に対応が困難になることから、学校が指定する端末の購入をお願いします。

**Q** 経済的な事情で、端末を購入することができない場合はどうすればよいですか。

**A** 住民税非課税世帯等で、端末を購入することができない家庭の生徒に対しては、貸出用端末を貸与する予定です。

**Q** 家庭での通信料は誰が負担するのですか。

**A** 家庭での負担となります（学校での通信料は県が負担します）。今後、家庭での活用が増えることも考えられますので、Wi-Fiなどの安定した通信環境の整備に御協力をお願いします。

**Q** どの学校がいつから端末を導入するのですか。

**A** 令和2年10月末までに、各学校の導入年度を岡山県教育庁高校教育課ホームページ等でお知らせする予定です。

岡山県教育庁高校教育課ホームページ

GIGAスクール構想に関するお知らせを随時更新しますのでご覧ください。

(令和2年8月作成)

